



2025年7月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年12月4日

上場会社名 ティーライフ株式会社
コード番号 3172 URL <https://www.tealifeir.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西上 節也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 齋藤 正和
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 0547-46-3459

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第1四半期の連結業績(2024年8月1日～2024年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第1四半期	2,683	11.6	15	68.3	14	72.2	34	55.1
2024年7月期第1四半期	3,037	3.6	50	63.2	50	64.9	21	77.2

(注) 包括利益 2025年7月期第1四半期 2百万円 (%) 2024年7月期第1四半期 23百万円 (76.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期第1四半期	7.99	
2024年7月期第1四半期	5.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年7月期第1四半期	8,817	6,198	70.3	1,454.23
2024年7月期	8,985	6,286	70.0	1,474.91

(参考) 自己資本 2025年7月期第1四半期 6,198百万円 2024年7月期 6,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年7月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期		26.00		20.00	46.00
2025年7月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年7月期の連結業績予想(2024年8月1日～2025年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,882	0.9	667	21.0	649	15.2	423	32.5	99.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年7月期1Q	4,262,300 株	2024年7月期	4,262,300 株
期末自己株式数	2025年7月期1Q	180 株	2024年7月期	180 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年7月期1Q	4,262,120 株	2024年7月期1Q	4,257,020 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や、為替の影響、ウクライナや中東における不安定な国際情勢の長期化、気候変動や度重なる自然災害の発生、物価上昇の進行等といった不安定な状況が続いているものの、賃上げの継続傾向やインバウンド需要増等の要因により、景気回復の動きが見られる状況にあります。

小売、卸売業界におきましては、エネルギー価格や原材料価格高騰による物価上昇が消費者の賃金上昇を上回り、個人消費の実質減少が継続しており、依然として先行きが不透明な状況にあります。

このような経済環境のなか、当社グループは安定的かつ継続的な成長と企業価値の向上を目指し、「進化するウェルネス&ライフサポート企業」をビジョンとし、引き続き「Reborn! ver. 2」をスローガンとした中期経営計画の達成に向け、各事業の拡大及び利益確保に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,683百万円(前年同四半期比11.6%減)となりました。

損益面では、営業利益は15百万円(同68.3%減)、経常利益は14百万円(同72.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は34百万円(同55.1%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

前連結会計年度まで、3つの報告セグメントにて事業を展開してまいりましたが、グループ経営の効率化を図るため、セグメントの範囲について経営管理区分の見直しを行い、従来、「卸売事業」及び「小売事業」に区分されていた事業を「ウェルネス事業」に統合、従来の「プロパティ事業」の呼称を「ロジスティクス事業」に変更し、報告セグメントを3つから2つに変更することといたします。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分及び呼称に基づいて作成したものを開示しております。

(ウェルネス事業)

テレビショッピング向けの卸販売では主力のサプリメントに注力したほか、寝具等の新商品拡販に注力いたしました。実店舗向け卸販売では秋口の気温が下がらず季節商品の動きが鈍かったため、通年商品の拡販に注力いたしました。カタログ通販においては、顧客開拓の効率改善と販促規模の適正化を進めました。EC分野においてはインフルエンサーを活用した販売促進に注力するとともに、オリジナル商品の品揃え拡大や販促効率の向上に努めました。また、米国向けEC事業や国内外の新規卸売先開拓といった今後の成長領域に積極的に投資いたしました。

一方で、紅麹問題継続の影響、ECモールの競合出店社数の増加に伴う競争の激化などの要因により、売上高は2,467百万円(前年同四半期比12.6%減)、配送コストなど、運営コストの上昇により、セグメント損失は21百万円(前年同四半期は20百万円のセグメント利益)となりました。

(ロジスティクス事業)

ロジスティクス事業では、袋井センター・掛川センターの安定稼働と、名古屋センターの顧客開拓営業に注力したことにより、売上高は215百万円(前年同四半期比0.5%増)、利益面では光熱費等のコストプッシュ要因に対応し、各センターの運用効率の改善に努め、セグメント利益は34百万円(同7.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、8,817百万円(前連結会計年度末比168百万円減)となりました。

流動資産の減少(同183百万円減)は、主に棚卸資産が7百万円増加したものの、現金及び預金が94百万円、受取手形及び売掛金が73百万円減少したことによるものであります。

固定資産の増加(同16百万円増)は、主にのれんが13百万円減少したものの、投資その他の資産のその他が27百万円増加したことによるものであります。

繰延資産の減少(同0百万円減)は、創立費及び開業費の償却によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、2,619百万円(前連結会計年度末比80百万円減)となりました。

流動負債の減少(同41百万円減)は、主に賞与引当金が42百万円増加したものの、未払法人税等が69百万円、買掛金が15百万円減少したことによるものであります。

固定負債の減少(同38百万円減)は、主に長期借入金が24百万円、固定負債のその他が11百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、6,198百万円(前連結会計年度末比87百万円減)となり、この結果、自己資本比率は70.3%となりました。

純資産の減少は、主に利益剰余金が51百万円、その他有価証券評価差額金が36百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月期の業績予想につきましては、2024年9月4日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,896	2,802
受取手形及び売掛金	1,014	941
棚卸資産	942	950
その他	302	277
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	5,147	4,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	645	636
土地	2,429	2,429
その他(純額)	116	110
有形固定資産合計	3,191	3,176
無形固定資産		
のれん	192	179
その他	65	69
無形固定資産合計	258	248
投資その他の資産		
投資有価証券	172	184
その他	205	233
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	376	417
固定資産合計	3,827	3,843
繰延資産	11	10
資産合計	8,985	8,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	610	594
1年内返済予定の長期借入金	99	99
未払法人税等	105	35
賞与引当金	48	90
役員賞与引当金	2	—
その他	438	442
流動負債合計	1,305	1,263
固定負債		
長期借入金	919	894
退職給付に係る負債	87	84
資産除去債務	72	72
その他	314	303
固定負債合計	1,394	1,355
負債合計	2,699	2,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	364	364
資本剰余金	334	334
利益剰余金	5,549	5,498
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,248	6,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	0
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	37	1
純資産合計	6,286	6,198
負債純資産合計	8,985	8,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)
売上高	3,037	2,683
売上原価	2,005	1,720
売上総利益	1,031	962
販売費及び一般管理費	981	946
営業利益	50	15
営業外収益		
受取利息	1	1
その他	1	2
営業外収益合計	2	3
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	0	3
創立費償却	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	5
経常利益	50	14
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	46
保険解約返戻金	0	—
特別利益合計	0	46
税金等調整前四半期純利益	51	61
法人税等	29	26
四半期純利益	21	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	21	34

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)
四半期純利益	21	34
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△36
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	1	△36
四半期包括利益	23	△2
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23	△2
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ウェルネス 事業	ロジスティクス 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	2,822	66	2,889	—	2,889
その他の収益(注)3	—	148	148	—	148
外部顧客への売上高	2,822	214	3,037	—	3,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	52	55	△55	—
計	2,825	267	3,093	△55	3,037
セグメント利益又は損失(△)	20	31	52	△2	50

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス 事業	ロジスティクス 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	2,467	55	2,523	—	2,523
その他の収益(注) 3	—	160	160	—	160
外部顧客への売上高	2,467	215	2,683	—	2,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	39	41	△41	—
計	2,470	255	2,725	△41	2,683
セグメント利益又は損失(△)	△21	34	12	3	15

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円は、セグメント間取引消去等であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅲ 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、従来の報告セグメントの区分である「卸売事業」及び「小売事業」を統合し「ウェルネス事業」とし、従来のセグメント名である「プロパティ事業」を「ロジスティクス事業」に変更しております。詳細は「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」に記載しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当連結会計年度の事業セグメントの区分及びセグメント名に基づき作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)
減価償却費	27百万円	27百万円
のれんの償却額	10	13